

インフルエンザの**制御**と コンピュータ解析

講演者 五十嵐 学 先生

北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター 准教授

演者のご略歴

- H 9年 北海道大学工学部卒業
- H12年 北海道大学大学院工学研究科 修士課程修了
- H16年 北海道大学大学院医学研究科 博士課程修了
- H17年 北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター 学術研究員
- H23年 北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター 特任助教
- H26年 北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター 准教授



インフルエンザAウイルスは、ヒトを含む哺乳動物および鳥に広く感染する人獣共通感染症病原体である。家禽やブタに蔓延しているウイルスは、時にヒトからヒトに効率よく感染する能力を獲得し、新型ウイルスとして世界的な大流行を引き起こす。ヒトの間で流行を始めた新型ウイルスは、季節性ウイルスとして定着し、毎年流行を繰り返す。我々は、インフルエンザの予防・治療法の開発に資する知見を得るため、計算科学や生命情報学の手法を用いて、原子、分子、遺伝子レベルでウイルス蛋白質の解析を行っている。本講演では、インフルエンザの制御について概説するとともに、我々が取り組んでいるコンピュータ解析を用いた最近の研究について紹介する。

日時 2018年6月27日(水)

Pm 6:30-7:30

会場 長崎大学グローバルヘルス総合研究棟
1階 大セミナー室

司会 浦田秀造

熱帯医学研究所 新興感染症学分野



どなたでも参加できます。
当日、熱研同門会の入会もできます。